

第70回全国植樹祭 基本構想

平成28年2月
第70回全国植樹祭愛知県準備委員会





第70回全国植樹祭 基本構想

平成28年2月 / 第70回全国植樹祭愛知県準備委員会

[表紙写真]

左：針葉樹林(岡崎市切山町)

右：愛知県がんセンター愛知病院 地域緩和ケアセンター(岡崎市)

下：名古屋城(名古屋駅周辺のビル群を望む)

[目次]

第1章 はじめに

- P01 ① 基本構想の趣旨
- P02 ② 全国植樹祭とは
- P02 ③ 愛知県における全国植樹祭の開催状況

第2章 開催方針

- P03 ① 開催理念
- P05 ② 大会テーマ及びシンボルマーク
- P05 ③ 大会ポスター原画
- P05 ④ 開催会場
- P05 ⑤ 開催規模
- P05 ⑥ 開催時期
- P05 ⑦ 企業協賛等

第3章 式典行事

- P06 ① 基本的な考え方
- P06 ② 式典演出
- P06 ③ 式典運営

第4章 植樹行事

- P07 ① 基本的な考え方
- P07 ② お手植え・お手播き
- P07 ③ 記念植樹

第5章 会場整備等

- P08 ① 基本的な考え方
- P08 ② 会場整備
- P09 ③ 交通・宿泊等

第6章 記念事業等

- P10 ① 基本的な考え方
- P10 ② 記念事業
- P10 ③ 関連事業
- P10 ④ 広報活動

第7章 運営方針等

- P11 ① 基本的な考え方
- P11 ② 実施組織
- P11 ③ 開催準備スケジュール



第1章 はじめに

1 基本構想の趣旨

本県は、主力産業である自動車産業をはじめ、繊維や陶磁器などの伝統産業からロボットなどの次世代産業まで、ものづくりが盛んな「日本一のものづくり県」であり、平成39年度の開業を目指すリニア中央新幹線、国産初のジェット旅客機MRJなど、日本の未来を創るプロジェクトが、この愛知を舞台に大きく羽ばたこうとしています。

また、全国屈指の農業県であり、中でも花きは、昭和37年度から現在まで全国第1位を誇っています。

加えて、平成17年の「愛知万博」、平成22年の「生物多様性条約第10回締結国会議」(COP10)、平成26年の「持続可能な開発のための教育(E SD)に関するユネスコ世界会議」といった国際的なイベント開催により培われてきた県民の高い環境意識を生かし、環境施策においてトップランナーである「環境首都あいち」の実現を目指しています。

平成27年には「全国都市緑化フェア」を開催するなど、緑や環境をテーマとした取組を継続的に行うとともに、山から街まで森や緑を守る「あいち森と緑づくり税」を導入し、独自の事業を展開しているところです。

また、公共建築物等木材利用促進法に基づく都道府県方針である「あいち木づかいプラン」や県内全ての54市町村が策定した市町村方針により、官民一体となって住宅や公共施設等への県産木材の利用拡大も進めています。

こうした中で、平成31年に、第70回全国植樹祭が愛知県で開催されることが内定しました。愛知県での開催は、昭和54年以来40年ぶり、2回目となります。

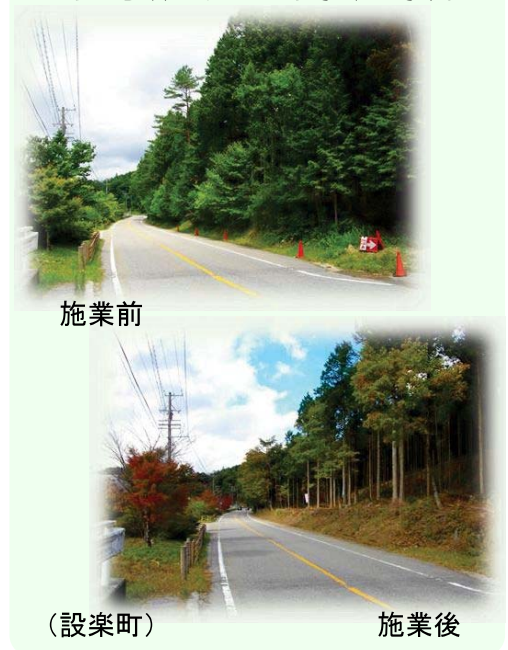
この基本構想は、第70回全国植樹祭を「愛知の誇るものづくりの伝統と文化」、「森と緑づくりや木づかい」など、本県の魅力や取組を全国に発信する絶好の機会とし、愛知県ならではの特色ある、有意義な大会となるよう、開催理念や開催内容などの基本的な事項を定めるものです。

リニア中央新幹線



Central Japan Railway Company. All rights reserved.

あいち森と緑づくり事業の事例

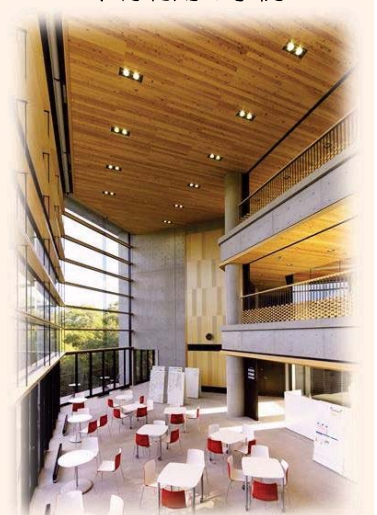


施業前

(設楽町)

施業後

木材利用の事例



宮崎学区市民ホーム(岡崎市)



もつくる新城(新城市)

2 全国植樹祭とは

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるために、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催する、国土緑化運動の中心的行事です。

全国植樹祭は、昭和25年に「第1回植樹行事並びに国土緑化大会（第21回大会からは「全国植樹祭」が正式名称）」として山梨県甲府市で開催されて以来、各都道府県において毎年春季に開催されています。

これまでの大会では、天皇皇后両陛下の御臨席を賜るとともに、県内外から多くの参加者を迎え、式典行事や記念植樹が行われています。

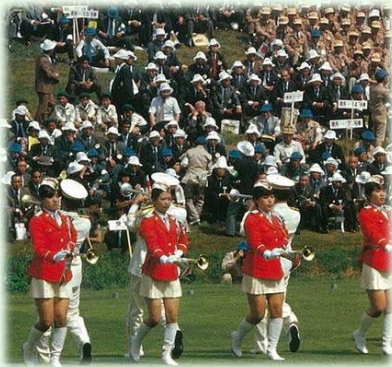
3 愛知県における全国植樹祭の開催状況

愛知県では、昭和54年5月27日、西加茂郡藤岡町（現在の豊田市）にて、天皇皇后両陛下をお迎えし、「緑で結ぼう山村と都市」を大会テーマに、第30回全国植樹祭を開催しました。

この大会では、天皇陛下がヒノキを皇后陛下がハナノキをお手植えになるとともに、南設楽郡鳳来町（現在の新城市）にて、スギとヒノキの種子をお手播きになりました。

また、約2万人の参加者により、ツブラジイ、シラカシ、アラカシ等の記念植樹が行われました。

【昭和54年に開催された第30回大会の様相】



式典



天皇陛下お手植え



天皇陛下お手播き



記念植樹

第2章 開催方針

1 開催理念

愛知県は、日本のほぼ中央に位置し、南は太平洋に面し、西部から南部にかけての一带は平坦で、濃尾平野、岡崎平野、豊橋平野が形成されており、東部には、三河山間部が広がるなど、多様な環境に恵まれています。

また、中京工業地帯の中心として、航空宇宙やファインセラミックス、エレクトロニクス等の先端産業や自動車産業等、世界でも有数な産業集積を誇り、製造品出荷額が、昭和52年以来38年連続で全国第一位を誇る「日本一のものづくり県」です。

本県の「ものづくりの歴史」を振り返りますと、江戸時代において、名古屋では、木曾川を経て運ばれてくる良質な木材の一大流通拠点であったことや、名古屋城築城の際に集められた職人が定住化したことから、木材を利用した街づくりはもちろんのこと、「からくり人形づくり」や「山車」、「家具製造」などを通じて、「木材を利用する技術」が培われました。

明治時代においては、こうした「木材を利用する技術」から発展した、時計、鉄道車両、合板、楽器、航空機、織機などの近代産業をもたらし、本県の工業発展の礎となっています。まさに、木材の利用は、本県のものづくりの原点となっています。

一方、本県の「森林^{もり}づくりの歴史」につきましても、古くは、自然に育った幼樹を採取し、苗木として植樹していました。

江戸時代から明治時代において、三河地方を中心に、種から苗木を育てる技術が発達し、容易にかつ多くの苗木を確保することが可能となり、植樹が進みました。また、尾張地方を中心に、燃料としての森林の伐採等によりハゲ山が広がっていましたが、尾張藩による植樹やヨーロッパの技術を取り入れて実施された治山事業などにより復旧されました。

戦後においては、復興の際に伐採された森林の緑化促進や高度成長期の木材需要の高まりを背景に、植樹が進められました。

こうした先人の方々のたゆまぬ努力が礎となり、現在は、県土面積51万6千haのうち21万9千haが森林となっています。



また、人工林の割合は64%で、全国平均の46%を大きく上回り、人工林のうち、成熟して利用できる時期に達している森林の面積は76%と全国平均の52%に比べて大きな割合を占めています。

このように、森林資源が充実し、本格的な利用期を迎えている今こそ、木材利用を推進していくことが重要です。

木材の利用は、林業・木材産業を活性化するとともに、森林整備を促進することから、水を蓄え山崩れを防ぐなど、森林の有する多面的機能の持続的な発揮につながります。

さらに、木材の持つ柔らかさ、温かさといった特性は、快適で健康的な生活環境をもたらしてくれます。

このため、本県では、名古屋市を中心とした大消費地を抱える特性を生かし、住宅や公共建築物、街なみ等都市部への木材利用の取組を広げていきます。

また、成熟した森林を伐採・利用し、植樹をして次世代の森を造っていく「循環型林業」や、森や緑を守り育む「あいち森と緑づくり事業」を推進することにより、多面的機能を持続的に発揮できる森林づくりを加速していきます。

こうしたことから、第70回全国植樹祭は、以下の理念により開催します。

第70回全国植樹祭開催理念

私たちは、「木材の利用」を山村と都市をつなぐ架け橋とし、
健全で活力のある「森林づくり」と「都市づくり」を進めていきます。

木材利用の事例



愛知県立芸術大学(長久手市)



ウッドデッキ(名古屋市)

2 大会テーマ及びシンボルマーク

第70回全国植樹祭の開催理念をあらわし、開催機運を高めるような「大会テーマ」及び「シンボルマーク」を公募により選定します。



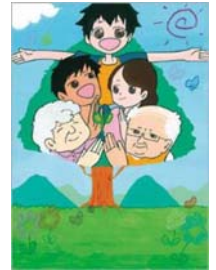
第65回全国植樹祭



第67回全国植樹祭

3 大会ポスター原画

第70回全国植樹祭の開催機運を高めるような「ポスター原画」を県内の小中高校生から募集し選定します。



第66回全国植樹祭

4 開催会場

(1) 式典会場候補地

愛知県森林公園（愛知県尾張旭市大字新居5182-1）

(2) 植樹会場候補地

愛知県森林公園



愛知県森林公園

5 開催規模

第70回全国植樹祭は、県内外から参加する招待者、協力者・スタッフ等を含めて10,000人程度の規模で開催します。ただし、荒天時は縮小します。

6 開催時期

第70回全国植樹祭は、平成31年春季に開催します。

7 企業協賛等

第70回全国植樹祭の趣旨に賛同をいただける企業等から協賛を仰ぎ、大会内容の充実に努めるとともに、開催機運を高めます。

1 基本的な考え方

- (1) 参加者のみなさんが開催理念を共有するとともに、心に残る内容の植樹祭とします。
- (2) 式典は、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- (3) 県内外から子ども、高齢者、障害者など、できるだけ多くの方々や大会に賛同いただいた企業、団体等が参加できるよう配慮します。

2 式典演出

式典の構成は、「プロローグ」「式典」「エピローグ」の3部構成とし、詳細については「基本計画」を策定する中で検討していきます。

(1) プロローグ

- ・プロローグは、参加者のみなさんを歓迎する気持ちを表現する内容とします。
- ・愛知県の豊かな自然や文化、モノづくりの伝統、森林・林業・木材産業の紹介などを行います。



第66回全国植樹祭(プロローグ)

(2) 式典

- ・式典では、天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を行います。
- ・開催理念や大会テーマをわかりやすく表現するものとします。



第66回全国植樹祭(式典)

(3) エピローグ

- ・エピローグは、参加者を歓送し、今後につながるメッセージを発信する内容とします。

3 式典運営

- (1) 式典の運営は、参加者の安全性、快適性に十分配慮し、みどりの少年団やボランティア等の方々の協力を得ながら行います。
- (2) 司会者、アシスタント、式典音楽隊の出演者等については、地元団体をはじめ県内の関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。



第66回全国植樹祭

1 基本的な考え方

- (1) 植樹行事は、将来目指すべき森林の姿をイメージして行います。
- (2) 本県の気候風土に適し、植樹会場周辺に生育する在来の樹種を選定するなど、地域の特性に応じた森林づくりを目指します。
- (3) 本県は、全国でも有数の緑化木の生産地ですので愛知県で生産された苗木を植樹します。また、苗木のホームステイなどにより、子どもたちが自らの手で育てた苗木も植樹します。
- (4) 県民のみなさんとの協働による森林づくり活動の拡大につなげていく契機とするため、子ども、高齢者、障害者、植樹指導を行うボランティアなど、できるだけ多くの方々に参加できるようにします。



2 お手植え・お手播き

- (1) 天皇皇后両陛下にお手植えとお手播きを賜ります。その樹種については、本県の自然条件にあった在来の樹種で、県民のみなさんに親しみのあるものを選定します。
- (2) お手植えされた記念樹は、森林づくり運動のシンボルとして、大切に管理・育成していきます。
- (3) お手播きされた種子から養成した苗木は、愛知県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配布します。

【第66回全国植樹祭】



天皇陛下 お手植え



皇后陛下 お手播き

3 記念植樹

県内外からの参加者が1人1本以上の記念植樹を行います。目指すべき森林の姿や森林づくりの手法、樹種を選定などは、今後、「基本計画」を策定する中で検討します。



1 基本的な考え方

- (1) 会場の整備にあたっては、安全性や機能性を考慮し、全ての参加者のみなさんが安心して、快適に参加できるよう配慮します。
- (2) 会場の整備にあたっては、積極的に県産の木材や花きを使用します。



木材利用の事例(名古屋市)

2 会場整備

(1) 式典会場

- ・式典は、愛知県森林公園で行います。
- ・式典会場整備の詳細については、今後、「基本計画」を策定する中で検討していきます。



(2) 植樹会場

- ・目指すべき森林の姿をイメージしながら必要な整備を行います。
- ・植樹会場整備の詳細については、今後、「基本計画」を策定する中で検討していきます。

(3) 駐車場、おもてなし広場等

- ・駐車場は、会場の近隣地、または近傍地を一時的に確保し、道路交通事情も考慮して選定します。
- ・式典会場と隣接しておもてなし広場を設置し、参加者のみなさんが安心して快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、救護所などを整備します。
- ・おもてなし広場は、愛知県の木材利用の取組や森林づくり活動、観光や県産品等を参加者のみなさんに広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内所、物産販売ブースなどを関係団体の協力により運営します。
- ・駐車場、おもてなし広場等整備の詳細については、今後、「基本計画」を策定する中で検討していきます。



第66回全国植樹祭 おもてなし広場

(4) 荒天会場

- ・荒天により、式典会場などでの行事实施が困難であると判断した場合は、荒天プログラムに変更して実施します。
- ・荒天会場の詳細については、今後、「基本計画」を策定する中で検討していきます。

3 交通・宿泊等

(1) 招待者の交通・宿泊

- ・式典前日、宿泊参加者のみなさん（主に県外招待者）は、第70回全国植樹祭愛知県実行委員会（仮称）（以下「実行委員会」という）が指定する県内の施設に宿泊することを原則とします。
- ・会場への移動は、宿泊参加者のみなさんは宿泊施設から、その他の参加者のみなさんは最寄りの集合地から実行委員会が手配するバス等により式典会場などに移動することとします。
- ・宿泊施設の収容人数、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、式典終了後の視察ルート等を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- ・参加者等の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び交通規制などについては、綿密な検討を行うとともに、添乗員の配置・案内等により快適な輸送体制を整えます。
- ・交通・宿泊等の詳細については、「基本計画」を策定する中で検討していきます。

(2) その他

- ・各会場周辺、およびアクセス道路沿線の安全を確保し万全な警備体制を構築します。
- ・会場へのアクセス道路沿線には、関係市や県民のみなさんと協力しながら、美化に努め、参加者を歓迎します。
- ・式典終了後、県外招待者のみなさんには愛知県の森林、林業、木材産業や自然、文化、歴史に対する理解を深めていただけるような視察コースを設定し、観光の振興も図ります。

第66回全国植樹祭



参加者の案内



会場周辺の美化

1 基本的な考え方

第70回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、森林づくりや木材利用の必要性について、県民のみなさんに広く啓発するため、記念事業を実施します。

なお、事業等の具体的な内容については、今後、「基本計画」を策定する中で検討していきます。

2 記念事業

全国植樹祭の目的を達成するため、実行委員会などが実施します。

- (1) プレ植樹祭や、緑化イベント等
- (2) 記念誌及び記録映像の作成、記念切手の発行等



記念事業(イメージ)

3 関連事業

全国植樹祭の併催行事として、全国の森林・林業関係者が一堂に会し、「後継者の育成」や健全な「森林づくり」を推進する「第48回全国林業後継者大会」を開催します。

また、全国植樹祭の関連事業としてふさわしい行事を実施します。



第44回全国林業後継者大会の広報誌

4 広報活動

全国植樹祭の開催理念や事業の展開について、広く普及・浸透を図るために実行委員会などが実施します。

- (1) 新聞、ラジオ、テレビ等、媒体の活用
- (2) 大会テーマ、大会ポスター原画、大会シンボルマークの活用
- (3) 専用ホームページの開設等
- (4) 広報誌の発行

1 基本的な考え方

- (1) 全国から参加されるみなさんを、県民全体が「おもてなしの心」でお迎えし、開催意義や理念を伝える場とします。
- (2) 全国植樹祭の運営には、市町村、関係団体、NPO法人及びボランティア団体などの協力が不可欠であることから、各団体の意向を踏まえ、密接な連携を図りながら進めます。

2 実施組織

第70回全国植樹祭の開催に向けて、次の組織を設置します。

- (1) 第70回全国植樹祭愛知県実行委員会（仮称） ※平成28年度設置予定
 【構成】会 長：愛知県知事
 【目的】基本計画、実施計画の策定など総合的な企画を行う
- (2) 第70回全国植樹祭愛知県実施本部（仮称） ※平成30年度設置予定
 【構成】本部長：愛知県知事
 本部員：愛知県職員、地元市職員、関係機関職員、関係者等
 【目的】第70回全国植樹祭の円滑な運営を行う

3 開催準備スケジュール

	平成27年度 (開催4年前)	平成28年度 (開催3年前)	平成29年度 (開催2年前)	平成30年度 (開催1年前)	平成31年度 (春季)
決定事項	基本構想 ◆開催理念 ◆開催候補地 ◆開催規模 等	基本計画 ◆大会テーマ選定 ◆式典演出計画 ◆シンボルマーク選定 ◆宿泊輸送計画 ◆大会ポスター原画選定 ◆運営計画 等 ◆式典演出構成 ◆会場整備計画 ◆植樹計画 ◆広報計画 等		実施計画 運営マニュアル	第70回全国植樹祭 開催
国土緑化推進機構	◆開催内定	◆開催決定 ◆開催会場決定	◆基本計画承認	◆開催日決定 ◆実施計画承認	
実施組織	準備委員会	実行委員会			実施本部

【全国植樹祭愛知県準備委員会名簿】

区分	所属・団体名	役職	氏名
学識経験者	名古屋大学大学院生命農学研究科	教授	戸丸 信弘
	日本福祉大学健康科学部福祉工学科	教授	福田 秀志
林業関係団体	愛知県森林協会	会長	三浦 孝司
	(公社)愛知県緑化推進委員会	事務局長	加藤 知
	愛知県森林組合連合会	代表理事会長	村松 幹彦
	愛知県林業種苗協同組合	理事長	市川 幸宏
	愛知県緑化木生産者団体協議会	会長	小林 功
	(一社)愛知県木材組合連合会	会長	鈴木 和雄
	(公財)愛知県林業振興基金	事務局長	佐竹 政利
市町村	愛知県市長会	会長	伊藤 太
	愛知県町村会	会長	久野 時男
各種団体	愛知県農業協同組合中央会	会長	吉田 濱一
	愛知県漁業協同組合連合会	会長	吉戸 一紀
	愛知県内水面漁業協同組合連合会	会長	峰野 修
	(一社)愛知県観光協会	会長	河野 英雄
県関係	愛知県	副知事	森岡 仙太
	政策企画局	局長	平岩 昭彦
	総務部	部長	平松 直巳
	振興部	部長	植田 昌也
	環境部	部長	杉浦 健二
	建設部	部長	市川 育夫
	教育委員会	教育長	野村 道朗
	愛知県警察本部 警備部	部長	今井 宗雄
	農林水産部農林基盤局	局長	山本 信介
計	24名		



お問い合わせ先

愛知県 農林水産部 農林基盤局森林保全課

電話：052-954-6453

E-mail：shinrin@pref.aichi.lg.jp